

雪解けと芽吹きの旅トレイル前半を歩く

信越トレイル1～3

実施日 2018年5月18日(金)～20日(日)

天候 5/18 晴れ 5/19 曇/小雨
5/20 晴れ

リーダー 涌井 良明

参加者 涌井良明、山崎富美恵、白石恵美子、石附智江、遠井謙策、徳山敬子
計6名

費用 JR11,354円 (東京起算30% off)

宿泊18,400円 (2食付2泊送迎含)

合計29,754円

タイム 5/18 飯山駅(8:19~25)宿(8:45)菅川上975㍻登山口(9:30)休125㍻(10:32~40)大明神岳(11:00~05)斑尾山(11:15~21)楓トレイル分岐(11:35)昼食1324㍻点(11:50~12:25)万坂峠(13:05)袴湿原(13:20)袴岳(14:36~48)赤池P(15:50送迎🚗)宿(16:15)

5/19 宿(8:30送迎🚗)涌井S3スタート点(8:55)富倉峠(10:00~05)ソブの池(10:30~40)黒岩山(12:00~20)昼食)桂池(13:00)仏ヶ峰登山口(14:58)戸狩スキー場とん平(15:25~40送迎🚗)宿(16:25)

5/20 宿(8:30)赤池P(8:45)S2入口(8:55)沼の原湿原(9:40)湿原入口P(9:55~10:03)希望湖南端(10:20)希望湖ホ-トハウス(10:55)毛無山口(11:00)毛無山△点(11:40~12:20)涌井新池(12:55)涌井(14:00~14:05)送迎🚗)宿(14:35~16:00)飯山駅(16:30~18:09はくたか572号)大宮(19:34)東京(20:00)

5/18 飯山地方の天気予報は昼頃から雨で翌19日から20日午前中まで続くと告げていた。飯山駅で下りたのは我々以外に数人だった。場違いなくらい立派なドンガラ風駅舎の駅前にはほほ何もない広場である。迎えに来てくれた宿の若旦那のハイエースがポツンと。

斑尾高原に向かって九十九折りを登

るにつれたまに行き交う対向車も見えないくらいの濃いガスが漂っている。

既に空は泣き出してしまったのか？

心なしか車内の賑やかさが聞かれないのは今回の天気を見越してのテンションの低さの現れなのかも…

宿に不要な荷物預けそのまま今日のセクション1の登山口へ向かうのだが、若旦那のアドバイスで予定していたスキー場からの楓トレイルではなく、南西の反対側からの尾根ルートがお薦めとのことでそちらから入ることにした。

結果は大正解！ 地元人の言うことは聞いておくもんだ。彼には翌日もグッドアドバイスをもらってお陰で快適な山行にできた。

でっ！話は戻って、宿からクルマが走り出して直ぐに、なんとガスが突然薄くなり、夏場の朝霧の如く青空がのぞき始めた、車内のテンションは当然いつものやかましさに。初日スタートから飯山の天気予報大外れで、何ともラッキーだあ！

クルマは地元の人しか知らない山里の農道を曲り〜、ノーガイドレールの狭い林道クネクネで、975㍻付近の斑尾山入口に到着。トレイル起点の斑尾山まで標高差は400㍻程で、



1時間ちょいといったところだ。

うれしい青空に感謝しながら尾根上に出る急登を踏み出す。いきなり・・・足下に可憐なイワカガミ・・・とっ、自然林の染まるようなグリーンシャワー出迎えられた。ワーッ！キャーッ！

導標もしっかりして道も良く踏まれている。尾根に乗って高度を上げていくが山はなんと言ってもお天気商売天気良ければ全て良し、なのでみんなゴキゲンです、それに思いの他傾斜も適当で我々ハードな山ヤ？のこぶし会メンバーには歩き易いのだ。高度が上がるにつれ



展望も広がりいつもと違う雰囲気 mountain 並や里の絵模様を楽しませてくれる。

斑尾山手前の大明神岳では眼下に野尻湖が広がり、遙かに北ア、北信五岳の飯縄山、戸隠山、黒姫山が霞んではいるが、若旦那に今日は展望は



心の目でと言われていただけに上々のお楽しみを貰った。アリガタイです。

北に僅かに登降して石仏の見られる斑尾山に着く。この山頂が信越トレイルの起点となるが展望は殆ど無く、この時期はブヨの大群が待機していて各人の頭上に天使の輪ならぬブヨの群れが...

なので写真だけで山頂を辞して、トレイルへ踏み出す。右から楓トレイルを合せて、幾分ブ



ヨ攻撃も少なめの斑尾スキー場最上部の展望地で昼食時折ガスが流れる静かな一時だ。

道は万坂峠に向けて左右のスキー場



が競合するゲレンデになっている尾根を下っていく。万坂峠は車道で渡り、袴岳へ向かう道になる。チゴユ

リの大群に癒やされた後に大きくはないが明るい袴湿原に出て、木道わきには名残のミズバショウやショウジョウバカマのピンク、サンカヨウの白、が迎えてくれた。狙い通りの花トレイルとなって喜んで貰えて良かった！



袴岳へ緩い登りになって、エンレイソウも目立つ道を進み山頂への70程

を登り切って袴岳だ。正面の雲間に残雪の妙高山左に黒姫山も見えていたのは我々の到着を待っていたくれたようでウレシイネ。§ 1のゴールの赤池まで残り1時間だ。

相変わらずの花の道から、やや登り加減の林道歩きの試練があってゴールの赤池Pに。結局殆ど雨には遭わず、素晴らしい緑を浴びて楽しいトレイルになった。



宿に戻って直ぐにジャブンと風呂&麦酒... 食後の話も弾んで9時過ぎにオヤスミナサイ。

5/19 大ちゃん(若旦那)から、今日§ 3を歩くと明日の行動に余裕が出来てイイかもとのアドバイスもあって、今日は§ 3を歩くことになった。

空は泣き出しそうだが出発の8時半には雨具はまだ不要だった。



§ 3のスタートは飯山街道(R292)の涌井集落である。(誰かに関係あるの?)

R292脇にセクション3の標柱があ

って、人家に向かって僅かに登ってトレイルになる。

まずは富倉峠に向かっていく、見事な朴葉にも出迎えられ今日も緑のシャワー満喫である。やや踏跡が薄く感じる森の道を登っていく。1時間ほどで東(右)側が開けた富倉峠だ。雲が立ちこめてはいるが眼下の飯山盆地の広がりが望める。



この辺りから道型は広く林道状態になる。峠から左方に800程で大將陣に出る、上杉謙信の軍を川中島の合戦に向かう際に休憩させた所だと案内

板が伝えている。また謙信道(富倉道)と言われ交易の要所として栄えたらしい。歴史を感じる処でもある。

左の樹間に水面が現れるとソブの池である、山に囲まれた静かな池で休憩に絶好のであるが、我々は昼にはまだ早い。



ソブの池からは単調な林道の緩い登りが続ので耐える区間かも。林道から分岐して黒岩山へ

は、小さく下ってから登り返すと黒岩山で東屋があるが、風が抜けて寒いので風を避けてランチにした。本来§3絶好の展望ポイントで島崎藤村の千曲川スケッチにもあるとのことだ。ただ今日は展望は望むべくもない。黒岩山を通過後一旦左

に小さく下り、今回唯一のシラネアオイに逢ってから二股の分岐を右にとったが(左の太郎清水経由が本コース)がお陰で人知れずに咲き誇るミズバショウの群落と取り放題のワラビ田を通ることになりメンバー一同は大喜びとなった。



黒岩山を抜けると桂池のほとりりになって舗装路に出る、この頃には小雨だが絶え間なく降るようになっていた。



花にキレー！と雨にも感謝？まだ残っていた雪も踏み、名残のヤマザクラも目にしてこの地方の雪の多さが実感できる。

300 ㍎程で再び山へ向い、中古池は気付かずに抜け山里の雰囲気道を仏ヶ峰登山口へ向かって徐々に山深くなって行く。濡れて透き通ったサンカヨウの

徒渉点2箇所を越すが大雨中にはちよっとイヤか？

仏ヶ峰登山口への登り切るとスキー場のゲレンデにでた、戸狩スキー場だ。



仏ヶ峰登山口の標柱には気づかなかったが、ゲレンデ内の道はとん平に向かって下っていく。

吹き上がる向かい風は冷たかったが、とん平のオフシーズンで寂しげなレストラン前から迎いのクルマで宿に戻って§3も完歩となった。

今夜も豪華に麦酒・地酒・焼酎も付いて明日のセクション2に備えて？オヤスミナサイzzz…

5/20 明け方まで降っていた雨も朝食の頃には止んで漂っているガスも薄くなりつつある。予報も☀️となっている。今日は距離も短く登降も少なめの§2を歩く。8時半、宿を出て赤池Pに送ってもらう。

Pから少し戻ってセクション2の入口で沼の原湿原に向かう、雨上がりのしっとり感とすがすがしいブナの森の道になるが、途中で何本か妙にいびつになったブナが見られる。アガリコと呼ばれ、人の手の届く枝を何度も切り落としては燃料にしてきたためそこから出てきた芽がいつしかいびつのかぶ状になってそう呼ばれるようになった。鳥海山麓の森のアガリコ大王と呼ばれるブナが有名で皆さんも行ったことがあるかも。



で、レポに戻って、ほぼ平坦なアガリコの森を抜けると沼の原湿原に向かって下りになる、や



がて沢音も聞こえる道とり、右の小沢の流れに沿って進むと沼の原湿原である。木道が延び小尾瀬といった雰囲気

で気持ち良い。既にミズバショウとリュウキンカはほぼ終り何れも名残だった。

沼の原を抜け湿原Pで一息、ここで本コースが土砂崩れで通行できないため、サブコースで次の希望湖(のぞみこ)に向かう、トレイル右の自動車道を登って浄水場(アクアパーク)付近からサブコースで希望湖へと下る。結果、希望湖へはこっちの道が近かった、畔に出て西岸沿いにほぼ半周する。



途中の半島では余りに気分が良いのでちょっと長居して遊んでしまおう。その先ものんびりと青空と周囲山と針葉樹、残雪を纏った妙高山など素晴らしい眺望などを

楽しみつつ進む。

ボートハウスに出て希望湖も終わり、今日唯一の山となる毛無山へと登って行く、標高差は120㍎程、時間も余裕があるので急ぐ必要もない。

やおら脇に目を向けると、おっ！今日もあるね！… ワラビがすっくと！その後ワラビ班長の束が太くなって



ったのは言うまでもない。

樺の美林、灌木の緑のトンネルと気持ち良い陽射しを受けながら

ノンビリとワラビ探しパーティは登るが、おかげで登りのストレスを味わうこともなく毛無山△点に着いてしばしランチタイム。



食後に山頂裏に展望台があるのに気付いて行って見る、東側が大きく開け越後駒ヶ岳・苗場山・

志賀方面の大遠望や木島平・野沢温泉スキー場などが箱庭のように見える。どうりでツアグループが△点で休憩しなかった訳だと納得。

毛無山を通過するように進み、下りになる、ワラビ班の束を更に太くしながら下ると、涌井新池のこじんまりして用水池に出た。



希望湖同様の貴重な用水池でその昔から治山治水を制することが以下に重要かを忍ばせています。

トレイルも佳境になってこの先は林道になり、毛無山の展望に劣らない眺望の楽しみつつ、ワラビも見えなくなったので、ミズキ、タニウツギ、藤、ヤマツツジなど道脇の春に目を移しながら歩き、昨日スタートした涌井に着いて信越トレイルpart1は完歩となった。

送迎車で宿に戻り、入浴後、飯山駅へ送ってもらい、趣向を変えて？たこ焼き・お好み焼きで反省会。☑では居眠りする間もなく大宮に着いてしまい解散。

お疲れ様でした。

メンバーに恐れをなして？天も味方してくれて、ナント半日だけの雨で収まり、本当に美しい緑に浸り、歴史に触れ、山菜採りも出来て満足度の高い3日間のトレイルでした。

信越トレイル恐るべし、春～秋で素晴らしそう！こうなると\$4~6も歩いてみたいねー！！

更に斑尾山周辺はスノーハイクも良さそう、誰かーあ 計画してみなーい！

(記&写真・涌井 良明)